

令和7年度大学生の就活スキルアッププログラム業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和7年3月21日（金）9時20分から10時40分まで
2	場 所	県庁東館7階商工相談室
3	出席委員	広島県総務局広報課長 吉野英城 広島県商工労働局人的資本経営促進課長 平賀崇史 広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（中小・ベンチャー企業支援担当）梅田宏行 広島県商工労働局産業人材課参事 津田 時男 広島県商工労働局雇用労働政策課長 櫻河内知子
4	議 題	1 開会 2 事務局説明 3 企画提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答、審査 4 審査点数の集計・提案者の決定 5 閉会
5	担当部署	広島県商工労働局雇用労働政策課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p><u>A社（株式会社広島経済研究所）審査</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内企業に対する深い知見が感じられ、学生への訴求に期待ができる。</li> <li>・ ペルソナの絞り込みや再検討を行うことで、一層効果が期待できるものと思料する。</li> <li>・ 独自の取組に期待したい。事業の周知については工夫の余地があると考ええる。</li> <li>・ 仕様書に基づき、これまでの業務実績を活かした提案を行っている。</li> <li>・ 実際の学生への広報の際には、よりアピールを心がけておこなってほしい。</li> <li>・ ペルソナ設定がターゲティングとして事業の基盤になるが、県内出身・県外大学在籍者がおらず、軌道修正するとはいうものの、多少の不安が残る。</li> <li>・ 円滑な業務実施が期待できる。ただし、ペルソナ設定が意味を成しておらず、タッチポイントから参加、行動変容に至るプロセス設計が必要である。</li> </ul> <p><u>C社（株式会社東京リーガルマインド 広島本校）審査</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固有のネットワークにより学生へのリーチが期待できる。</li> <li>・ 参加企業へのフォローが丁寧で好印象である。</li> <li>・ 周知のターゲットについては、独自の視点があることは評価するが、周知方法自体は工夫の余地がある。</li> <li>・ 学生への広報について工夫されている。</li> <li>・ オープンカンパニー（タイプ1）のイベント内容について、もう少し具体的な提案があるとなお良かったのではないかと。</li> <li>・ 転出超過の要因を踏まえ、十分ご検討いただいた提案をしていただいております、特に独自提案については興味を引くものと感じた。</li> <li>・ イベント内容は全体的に提案されているが、戦略性が感じられなかった。</li> </ul>